

留萌産トドマツ販路の拡大

～地域材利用・販売促進に向けた民有林との連携～

留萌南部森林管理署

背景・現状

○留萌産トドマツは成熟期であり生産量の増加が見込まれる。

地域の課題

○木材流通状況の把握と販売促進

- ・留萌港からのトドマツ材輸出・移出に関する情報収集と安定供給体制の確立
- ・地域材のPRとブランド化及び森林認証取得に向けた検討
- ・留萌材の欠点が表面化しない用途で受け入れしてもらうための販路の確保

○ 民国連携した木材の安定供給に向けた仕組みづくり・伐採や搬出等、ロットをまとめた共同出荷の検討



留萌港から輸出されるトドマツ材

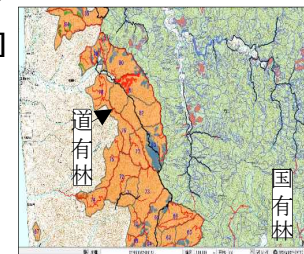
平成28年度（注）の取組内容

＜新たな販路の開拓＞

○ 年々増加している移出状況を把握し、平成28年度の新たな取組として、留萌港からの本州移出を視野に入れ、素材生産販売（公売）においてカラマツ・トドマツ合板向け4m採材を試行的に実施した。

＜集約化の推進＞

○ 道有林と国有林でロットをまとめて立木販売を行う取組として、振興局と民国一体化図面を作成し協議した。



道有林・国有林の一体化図面

取組結果と成果

○ 4m材を81m³販売したところ、引き合いが多く完売できた、付加価値を高めた販売に繋がりに、トドマツでは約11,000円/m³の販売となった。

○ 需要動向の把握、受け入れ情報を共有しながら合板向け本州移出の新たな販路の開拓に繋がった。



留萌港に搬出されたカラマツ4m材

○ 国有林、道有林、民有林の図面も作成したので関係市町村、森林組合等に関心を持ってもらうことができ、国有林、道有林の伐採計画を同一の図面に表示することで、道有林51林班と国有林67～69林班の立木販売による共同出荷に向けた（公売）候補地の絞り込みができた。

今後に向けて

☆ 引く続き、林政連絡会議・地域林業活性化協議会で木材需要動向や受け入れ情報を共有し、販売促進対策の検討により留萌産トドマツの利用拡大に向けて取り組みを進める。

